



上越総合病院

地域連携センター便り

2017
1月号



あけましておめでとうございます
本年もよろしく願っています



平素より先生方には大変お世話になっております。また、看護師の皆さんや、地域連携にたずさわっている方々にも大変お世話になっております。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、リオデジャネイロオリンピックでの日本のメダルは史上最多を更新し、スポーツの世界における日本の若者たちの活躍に勇気をもらった一年でした。

さて、医療界においては平成28年度の診療報酬改定は、本体を0.49%引き上げる一方、薬価等を1.33%引き下げ、全体では0.84%のマイナス改定となりました。今回の改定は、前回改定のように大きなトピックは無く、2025年の医療提供体制の構築に向けて、広い範囲での項目の整理が行われたという印象です。しかしながら内容は地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携を進める見直しがされており、2025年の改革シナリオに向けて、加速する高齢化社会や住民の医療・介護・予防・住まいを地域全体でサポートするための準備を示唆させる内容となっております。

当院では、一昨年前より地域連携室の強化に取り組んでおります。患者様の受診、入院などの病診連携、病病連携また、訪問看護ステーション、ケアマネージャーとの連携など充実させていくことで、患者様を中心に質の高い、安心と信頼の医療の提供に努めていきます。

今後も先生方のご協力の下、患者様や先生方に満足していただけるよう更なる充実を図り、皆様のお役に立つように努めてまいりますので、本年もご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

上越総合病院 医事課長
磯部 洋一

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

上越総合病院 地域連携センター
電話 025-524-3000 (代表)
FAX 025-524-3140 (直通) まで



脳神経外科および脳卒中医療について

脳神経外科 荒川 泰明



平成18年4月に、上越総合病院の新築移転が執り行われました。この時に部長の江塚勇医師と共に赴任し当院に脳神経外科が誕生して、初めての脳外科手術が行われました。以来10年間で行なった脳外科手術総数は約1000件となりました。内訳は脳動脈瘤クリッピング術 220例、脳腫瘍 115例、頭部外傷200例、水頭症手術100例、微小血管減圧術（顔面けいれん及び三叉神経痛）70例。

これもひとえに、地域の先生方を始め多くの方々支援のおかげでございます。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さてこの10年間に行った我々の新たな取り組みをご紹介します。

- ①脳動脈瘤手術では無剃毛と小型開頭法をもちいた、整容的クリッピング術の開発（江塚医師の指導による）
- ②脳動脈瘤クリッピング術にICG-ビデオ術中脳血管造影術を導入し、安全性を高めました。
- ③術中の脳神経モニタリングを導入し、安全な手術法の開発に努めました。
- ④t-PAという血栓溶解療法を初めて取り入れ、超急性期の脳梗塞治療の成績が向上しました。
- ⑤救急治療病棟（HCU）の開設と同時に脳卒中の急性期治療をHCUに集約化し、安全性と成績の向上が得られました。
- ⑥院内及び病院前脳卒中救命コース（ISLS/PSLSコース）を上越地域で初めて導入し、地域連携を深めると共に市民への啓蒙活動を行ってきました。
- ⑦脳卒中急性期治療から回復期治療へのシームレスな連携のため脳卒中連携パスを導入し、より質の高い医療やリハビリテーションを提供しました。
- ⑧私の母校の金沢大学 脳外科 中田光俊教授のサポートにより、脳血管内治療や脳腫瘍治療など、より専門性の高い疾患を治療することが可能となりました。現在では金沢大学からも研修医が来てくれています。

しかし最近では患者様の増加のみならず、高齢化や多様化が進んで参りました。従来当院では脳卒中は脳外科と神経内科とで協同し治療してきましたが、十分な対応が困難となりました。そこで総合診療科の大堀高志医師を中心に、内科医師のサポートを受ける体制が整いました。また患者様の入り口である救急科の丸山正則医師にご協力いただき、頭部外傷や脳卒中のトリアージを行なっています。これにより外科的な治療が必要な患者様に脳外科が集約していく事が可能となりました。当院は幸い、神経内科や総合診療科及び救急科の支援が得られます。またコメディカルやHCUの協働も良好であります。次の課題はこれらを統合した、脳卒中センターを立ち上げることであります。10年間にわたる皆様のご支援ご協力のおかげで、土台は固まって参りました。今後も安全で安心の医療を提供することに十全を期するところです。

かつてNHK大河ドラマの『天地人』では、上越が舞台となりました。この言葉には天の時、地の利、人の和が揃うことで大事がなされるという意味があります。地域医療を支えることは大変な努力が必要です。地の利、人の和を大切にして、地域住民のニーズに応えるという最も大切なミッションを実行する時が参りました。

今後も上越総合病院 脳神経外科及び脳卒中医療につきまして、益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

上越総合病院ケアマネジャー交流会を開催しました



昨年度に引き続き本年度も、11月21日（木）に第2回「上越病院ケアマネジャー交流会」を無事開催いたしました。参加者は近隣の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の総勢13名でした。

当日は、霜田皮膚排泄ケア認定看護師が「基本的なスキンケア」と題し、講演を行いました。その後、外部のケアマネジャー様と院内スタッフとの意見交換の場をもうけ、病院との連携におけるご意見やご要望などを頂きました。上越地域でご活躍のケアマネジャー様方の貴重なご意見を受け止め、ケアマネジャー様と円滑な連携を図れるように活かして生きたいと考えています。

私どもは地域に選ばれる病院を目指し、今後も地域の皆様との連携を深めていきたいと思っております。変わらぬご指導を下さいますようお願い申し上げます。

上越総合病院 地域連携室担当
副看護部長 笠松美恵子

サークル紹介 テニス部



上越総合病院テニス部は職種を越えたテニス好きが集まり、総勢20人で楽しく活動しています。

今年度の新潟県厚生連テニス大会では、総合3位、女子の部では木村・森田ペアが準優勝と健闘しました。

テニス部で他職種と親睦を深めているので、普段の仕事でも連携が取りやすくなり、より良い仕事につながっているように思います。

来年度も総合優勝を目指して頑張ります！！

新潟厚生連 上越総合病院 医師一覧表

平成29年1月現在

内科	呼吸器	外山 譲二	外科	乳腺外来	藤田 亘浩	
	呼吸器	小原 竜軌			伊達 和俊	
	呼吸器	月岡 啓輔			小出 則彦	
	呼吸器	藤戸 信宏			藤田 加奈子	
	消化器	武井 伸一			平島 浩太郎	
	消化器	合志 聡			丸山 智宏	
	消化器	鈴木 庸弘		呼吸器外科		尾嶋 紀洋
	消化器	禿 晃仁		脳神経外科		江塚 勇
	消化器	野尻 俊介				荒川 泰明
	腎・糖尿病	亀田 茂美			非常勤医師	亀山 茂樹
内科 (非常勤医師)	腎・糖尿病	後藤 慧	産婦人科		相田 浩	
	腎・糖尿病	上野 光博			小幡 宏昭	
	糖尿病内分泌	笹岡 利安			廣井 威	
	糖尿病内分泌	岡部 圭介			堀内 綾乃	
	血液	野村 憲一	耳鼻咽喉科	非常勤医師	高倉 大匡	
	和漢	藤本 誠		非常勤医師	阿部 秀晴	
	和漢	野上 達也			佐藤 昭一	
総合診療科	呼吸器	清水 夏恵	眼科		大塚 光哉	
		大堀 高志		非常勤医師	東條 直貴	
		麻生 祐嗣		非常勤医師	三原 美晴	
循環器内科		今西 明		非常勤医師	宮腰 晃央	
		竈島 充		非常勤医師	藤田 和也	
神経内科		長谷川 智也		整形外科		渡部 公正
		田畑 裕章				相場 知宏
		福原 信義	非常勤医師		東條 猛	
		鈴木 隆	非常勤医師	金森 昌彦		
	非常勤医師	春日 健作	非常勤医師	元村 拓		
	非常勤医師	徳武 孝允	泌尿器科		里見 定信	
非常勤医師	小松 潤史	非常勤医師		渡部 明彦		
小児科	非常勤医師	畠山 公大	皮膚科		竹上 與志昌	
		土谷 修一	救急科		丸山 正則	
	非常勤医師	中山 有美	麻酔科		朝日 丈尚	
	雅楽 川隆			加藤 晋		
歯科口腔外科		桑原 徹			加藤 麻紀子	
検査科		巻 渕 隆夫	放射線治療科		江部 和勇	
病理診断科		関谷 政雄	放射線科		加藤 洋	

早朝検査の実施について(予約患者様のみ)

当院では、外来患者様の待ち時間を短縮する取り組みとして、検査の受付時刻を従来の8時30分より30分早めて行っております。それにより患者様にはスムーズに診察を受けて頂けると考えております。